

テーマ

「情報モラル教育年間指導計画の作成と活用例」

情報教育研究員

浅井文規（入谷小学校）

山口永（相武台東小学校）

本村茂久（栗原小学校）

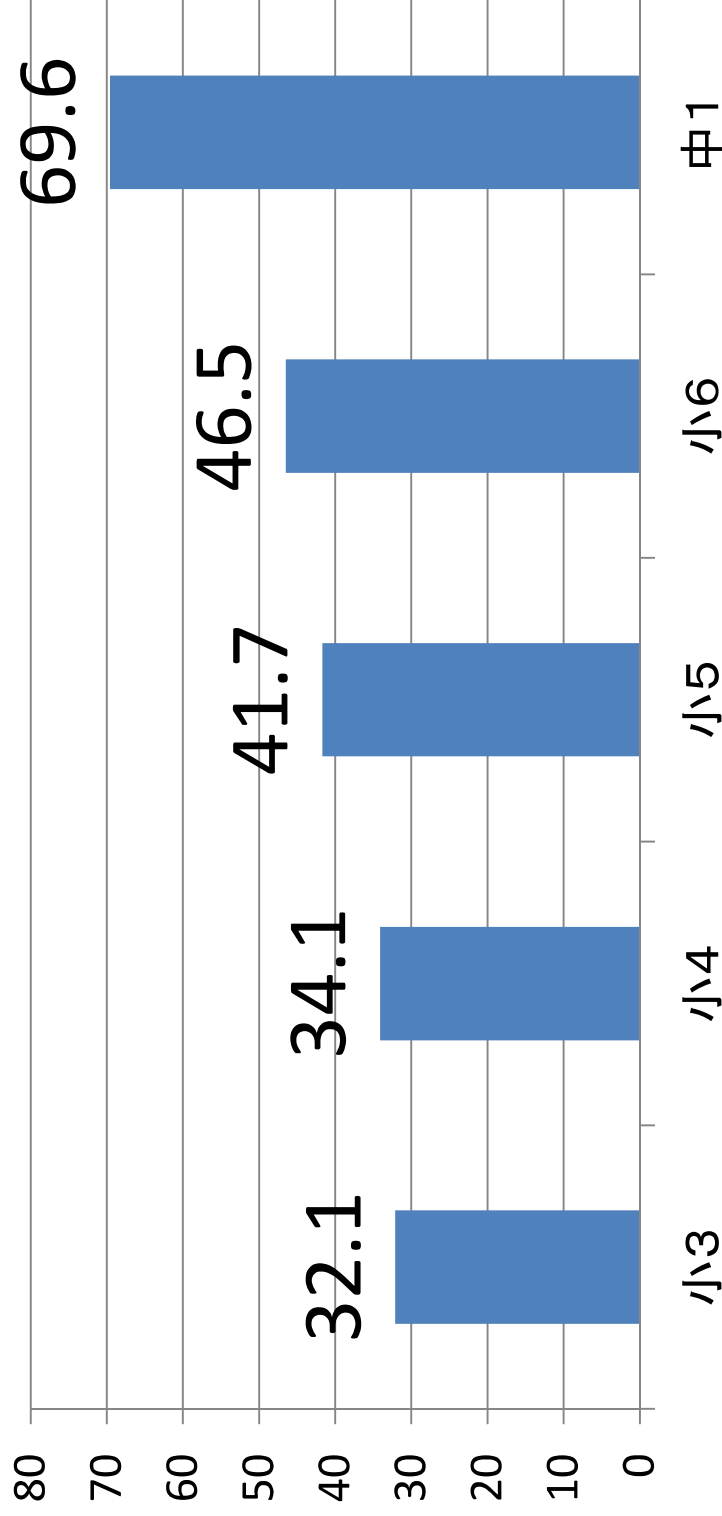
日永一徹（座間中学校）

1. 研究を始めた経緯

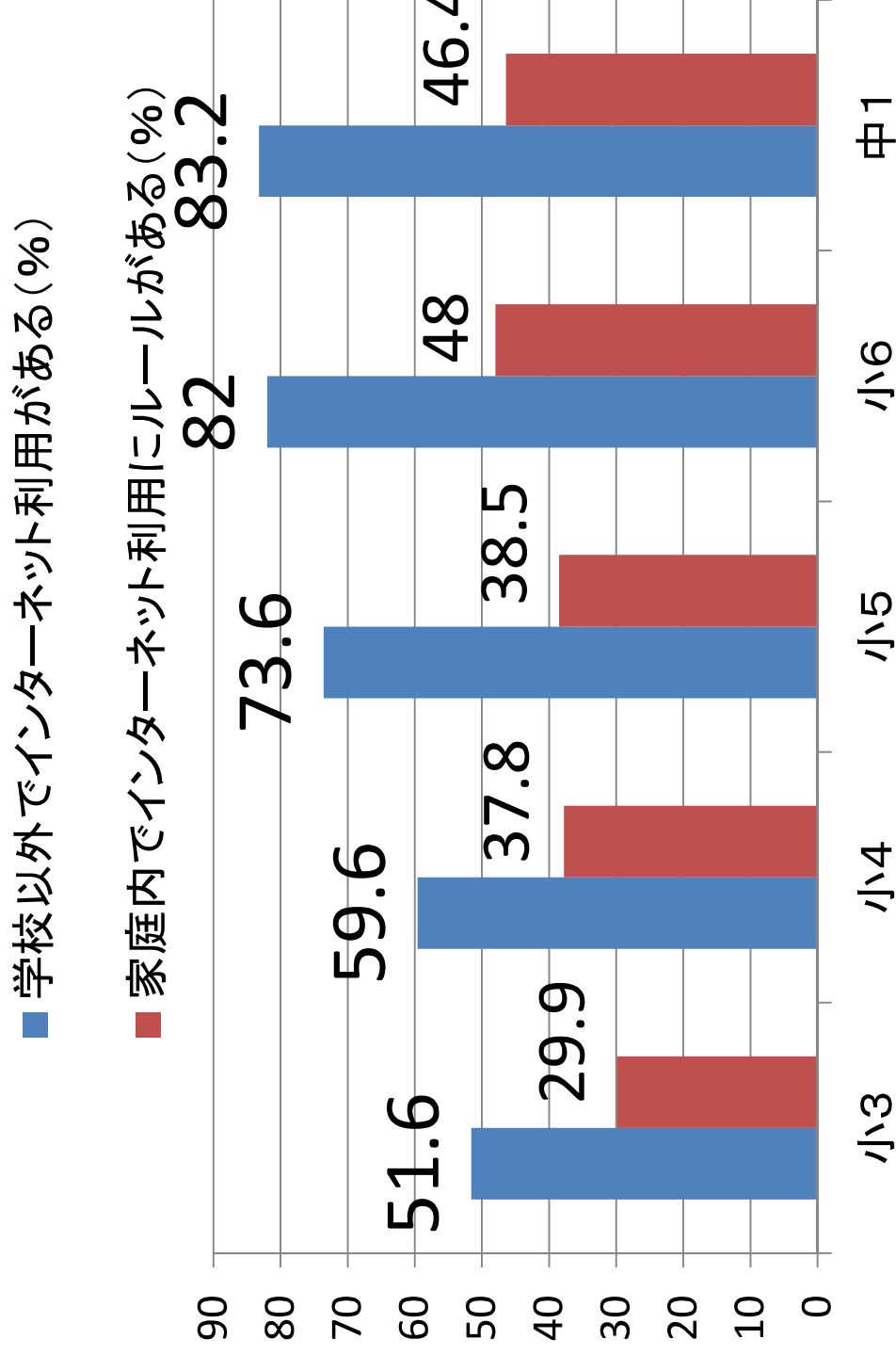
～情報モラル教育の必要性の高まり～

情報モラルアンケートの結果から
2012年7月 対象 座間市の小学校11校 中学校3校

携帯電話・スマートフォン所持率(%)



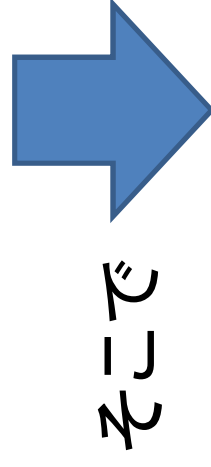
学校外でのインターネット利用と家庭内でのルールとの関係



携帯電話の所持率やインターネットの利用率に比べて
インターネットの利用のルールが児童に十分浸透していない

このままだと 児童の

インターネット上のトラブル
ゲームやスマートフォンへの依存
が心配される



そこで

児童の情報モラルを高めるため

そして、系統立てた指導が各学年で行えるように

「情報モラル教育年間指導計画」
を情報教育研究員で作成した。

情報モラル教育年間指導計画

情報モラル教育年間指導計画 ～学期に1回 15分！～

・動画(3～5分)を見て、考え、話し合う活動を学期に1回15分。
 ※A 見る+話し合う B 見る+感想 C 見る(まとめまで)
 ・日々の授業を活かしてできる、準備は《お助けネット》をひらくだけ。
 ※()の月は学期と合ってませんが実施してください。

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
低学年	【道徳】6月 ふわふわわことば ちくちくことば 《倫理》 人を傷つけることばを使わず、人をつれしい気持ちにさせる言葉を進んで使う態度を育てる。	【特別活動】4月 2年生になったら 《倫理》 約束や決まりを作り、守ることができる。	【国語】5月 あんなに紙を書こう 《倫理》 相手の気持ちを考えて行動することができる。	【道徳】11月 スマホでけんか 《倫理》 情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る。	【国語】5月 インターネットを使って調べよう 《安全》 情報の正確さを判断する方法を知る。	【家庭科】4月 真直そう食事と生活のリズム 《安全》 健康のために利用時間などを見直し、守ることができる。	
1学期	【生活】12月 みんないっしょに 《安全》 規則正しく健康に気をつけて生活することができる。	【道徳】9月 あとまわしおぼけがでたぞ 《安全》 規則正しく健康に気をつけて生活することができる。	【社会】11月 働く人と私たちのくらし ちらしをつくて、仕事のくふうを伝えよう 《倫理・知的財産》 自分の情報や他人の情報を大切に する心情を育てる。	【道徳】11月 クラブ活動リーフレットを作ろう 《安全》 情報には誤ったものもあることに気づく。	【国語】(9月) メディアについて考える 《倫理》 他人や社会への影響を考えて行動する。	【道徳】9月 「ほしい」ってなに? 「必要」ってなに? 《倫理》 インターネットなどで自他の個人情報を第三者にもらさない。	ネット社会の歩き方 「◎ネット依存に注意」 保護者とのルール作り B
2学期	【道徳】※(9月) おしゃべりしましう 《倫理》 話し方・聞き方のルールを知り、ルールを守って生活を豊かにする 心情を育てる。	【道徳】※(12月) こめんなさい 《倫理》 過ちを素直に認め、ともに気持ちよ く生活しようとする心情を育てる。	【社会】3月 県のしようかいパンフレットをつくら う 《安全》 著作権について学ぼう	【国語】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】9月 「ほしい」ってなに? 「必要」ってなに? 《倫理》 インターネットなどで自他の個人情報を第三者にもらさない。 ネット社会の歩き方 「◎ネット依存に注意」 保護者とのルール作り C
3学期	【道徳】※(9月) おしゃべりしましう 《倫理》 話し方・聞き方のルールを知り、ルールを守って生活を豊かにする 心情を育てる。	【道徳】※(12月) こめんなさい 《倫理》 過ちを素直に認め、ともに気持ちよ く生活しようとする心情を育てる。	【社会】3月 県のしようかいパンフレットをつくら う 《安全》 著作権について学ぼう	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】9月 「ほしい」ってなに? 「必要」ってなに? 《倫理》 インターネットなどで自他の個人情報を第三者にもらさない。 ネット社会の歩き方 「◎ネット依存に注意」 保護者とのルール作り C
3学期	【道徳】※(9月) おしゃべりしましう 《倫理》 話し方・聞き方のルールを知り、ルールを守って生活を豊かにする 心情を育てる。	【道徳】※(12月) こめんなさい 《倫理》 過ちを素直に認め、ともに気持ちよ く生活しようとする心情を育てる。	【社会】3月 県のしようかいパンフレットをつくら う 《安全》 著作権について学ぼう	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】11月 ネット社会の歩き方 「◎Webサイトの情報を活用しよう」 C	【道徳】9月 「ほしい」ってなに? 「必要」ってなに? 《倫理》 インターネットなどで自他の個人情報を第三者にもらさない。 ネット社会の歩き方 「◎ネット依存に注意」 保護者とのルール作り C

※授業の内容に合わせて置き換える必要があります。

情報モラル教育における3つの分野

- 倫理に関する教育
人を傷つけない。自分の発信した情報に責任を
もつ。
- 知的財産に関する教育
著作権や肖像権など他の人が持つ権利を侵さない。
- 安全面に関する教育
規則正しい生活習慣が確立されている。情報の真偽
を確かめてから使用する。ルールや約束事を守る自
制心を持つ。

学年ごとの情報モラル教育の目標

- 低学年
大人と一緒に情報ツールを正しく使うことができる子。
情報ツールを使うときのルールを守ることができる子。
- 中学年
自分の情報や他人の情報を大切にする子。
間違った情報もあることを知り、正しく情報ツールを使うことができる子。
- 高学年
ネット社会のルールを守り、正しく情報発信や受信をすることができる子。

低学年で重視したいこと

- 情報ツールを使う際にかかわらず、日常生活の中で決められたルールやマナーを守ることの大切さをしっかりと学ばせたい。

	1年生	2年生
1学期	<p>【道徳】 6月 ふわふわことば ちくちくことば</p> <p>《倫理》 人を傷つけることばを使わず、人をうれしい気持ちにさせる言葉を進んで使う態度を育てる。</p>	<p>【特別活動】 4月 2年生になったら</p> <p>《倫理》 約束や決まりを作り、守ることができきる。</p>
2学期	<p>【生活】 12月 みんないっしょに</p> <p>《安全》 規則正しく健康に気をつけて生活することができる。</p>	<p>【道徳】 9月 あとまわしおぼけがたぞ</p> <p>《安全》 規則正しく生活することができる。</p>
3学期	<p>【道徳】 ※(9月) おしゃべりしましょう</p> <p>《倫理》 話し方・聞き方のルールを知り、ルールを守って生活を豊かにする心情を育てる。</p>	<p>【道徳】 ※(12月) ごめんなさい</p> <p>《倫理》 過ちを素直に認め、ともに気持ちよく生活しようとする心情を育てる。</p>

中学年で重視したいこと

- 半分以上の子が日常的にインターネットを活用し始める時期なので、インターネット上にある情報の中には誤った情報があったり、自分が情報を発信する事に対する責任、著作権や肖像権を学び、トラブルに巻き込まれないように指導していきたい。

	3年生	4年生
1学期	<p>【国語】 5月 あんないの手紙を書こう 《倫理》 相手の気持ちを考えて行動することができ ★ネット社会の歩き方 「ネットで悪口は要注意」「おもしろ半分では無責任」</p>	<p>【道徳】 11月 スマホでけんか 《倫理》 情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る。 ★ネット社会の歩き方「おもしろ半分では無責任」 疑似体験 チャット体験(キューブキッズ)</p>
2学期	<p>【社会】 11月 働く人と私たちのくらし ちらしをつくって、仕事のくふうを伝えよう 《倫理・知的財産》 自分の情報や他人の情報を大切に 心情を育てる。 ★ネット社会の歩き方「ネットで悪口が罪になる」</p>	<p>【国語】 11月 クラブ活動リーフレットを作ろう 《安全》 情報には誤ったものもあることに気づく。 ★ネット社会の歩き方「㊦Webサイトの情報を活用しよう」</p>
3学期	<p>【国語】※(9月)図鑑で調べよう ※(12月)クラスのことを調べよう 《倫理・知的財産》 自分の情報や他人の情報を大切に 心情を育てる。 ★ネット社会の歩き方 「㊦他人の絵や文章のコピーは要注意」</p>	<p>【社会】 3月 県のしよかいパンフレットをつくらう 《安全・知的財産》 著作権について学ぼう ★ネット社会の歩き方 「㊦他人の絵や文章のコピーは要注意」</p>

高学年で重視したいこと

- 中学年で学んだことを生かしつつ、インターネット利用の便利な面も気をつけなくてはいけない面も両方を理解して、大人と同じように情報ツールを使いこなせるようにする。

5年生

1学期

【国語】 5月

インターネットを使って調べよう

《安全》

情報の正確さを判断する方法を知る。

★ネット社会の歩き方

「㊤Webサイトの情報を活用しよう」

6年生

1学期

【家庭科】 4月

見直そう食事と生活のリズム

《安全》

健康のために利用時間などを見直し、守ることができる。

★ネット社会の歩き方「㊤ネット依存に注意」
保護者とのルール作り

2学期

【国語】 (9月)

メディアについて考える

《倫理》

他人や社会への影響を考えて行動する。

★ネット社会の歩き方「㊤うわさやデマ

を発信しない」

疑似体験 掲示板(キューブキッズ)

3学期

【社会】 1月

情報を生かすわたしたち

《安全・倫理・知的財産》

情報を正しく安全に利用する態度を育てる。

★ネット社会の歩き方「ネットショッピングの活用」

【道徳】 9月

「ほしい」ってなに? 「必要」ってなに?

《倫理》

インターネットなどで自他の個人情報を第三者にもらさない。

★ネット社会の歩き方「ネットショッピングの活用」

【音楽】 (3学期)

音のスケッチ ジュンかんコードから音楽をつくろう

《知的財産》

知的財産権、音楽著作権について知る。

★ネット社会の歩き方「コピーしてもいいの?」

情報モラルアンケート 中学年(3、4年)

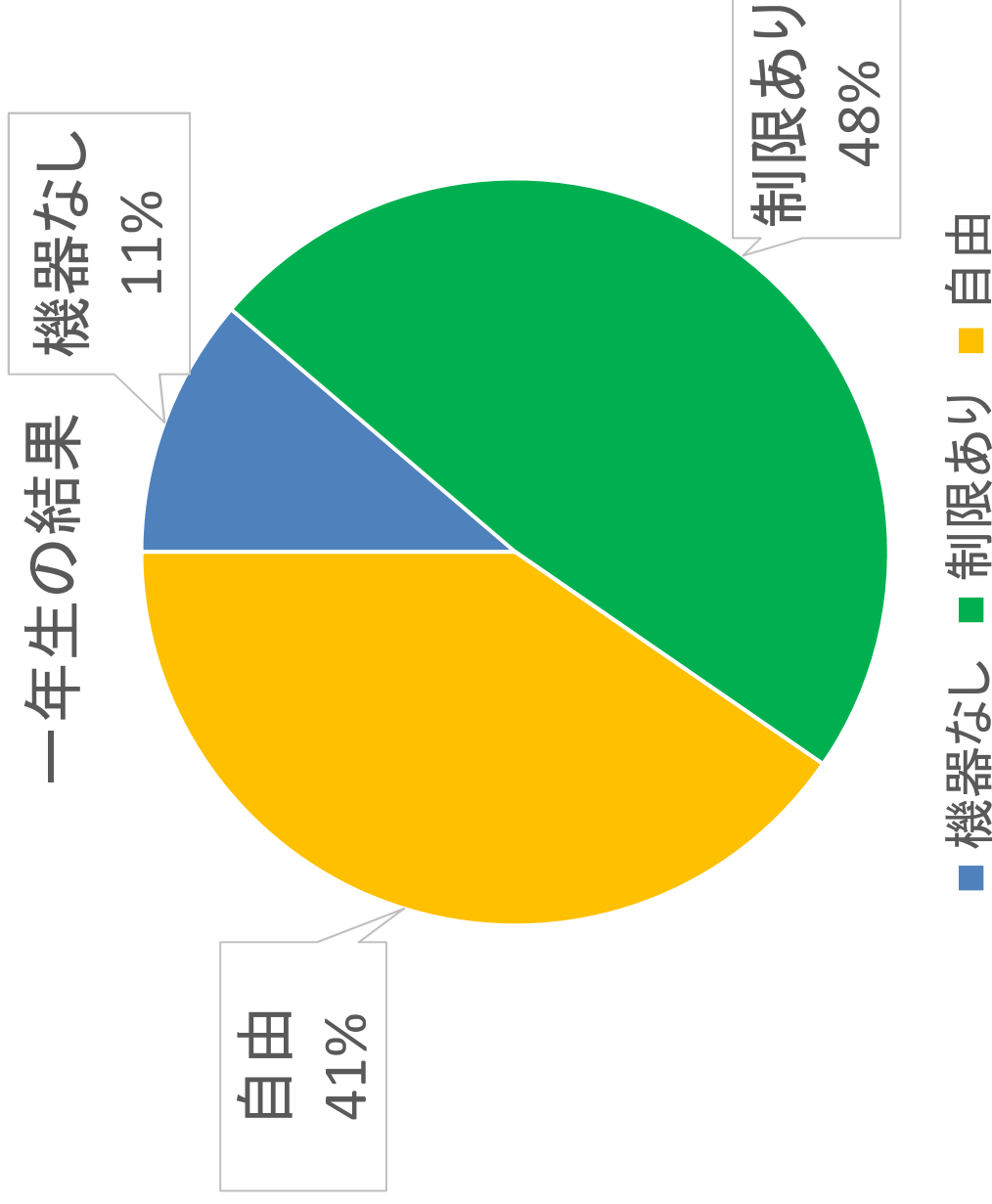
- 1 手紙やメールを書くときにはいつも相手の気持ちを考えている。(倫理)
- 2 友達の写真を撮る時にいつも本人に確認している。(倫理)
- 3 誰かの作品を無断で使ったり、まねたりしたものを自分の作品として発表してはいけないことを知っている。(知的・財産)
- 4 著作権とは作品を作った人なら誰でも持っていて、大切にしなければならぬことを知っている。(知的・財産)
- 5 自分のID・パスワードを友達に教えてはいけないことを知っている。(安全)
- 6 ゲームやネット上で友達のIDやパスワードを使って勝手に遊んではいけないことを知っている。(安全)
- 7 インターネットやゲームは家族で話しあって決めた時間の中でやっている。(安全)
- 8 インターネットの情報がすべて正しいとは限らないことを知っている。(安全)

情報モラルアンケート 高学年(5、6年)

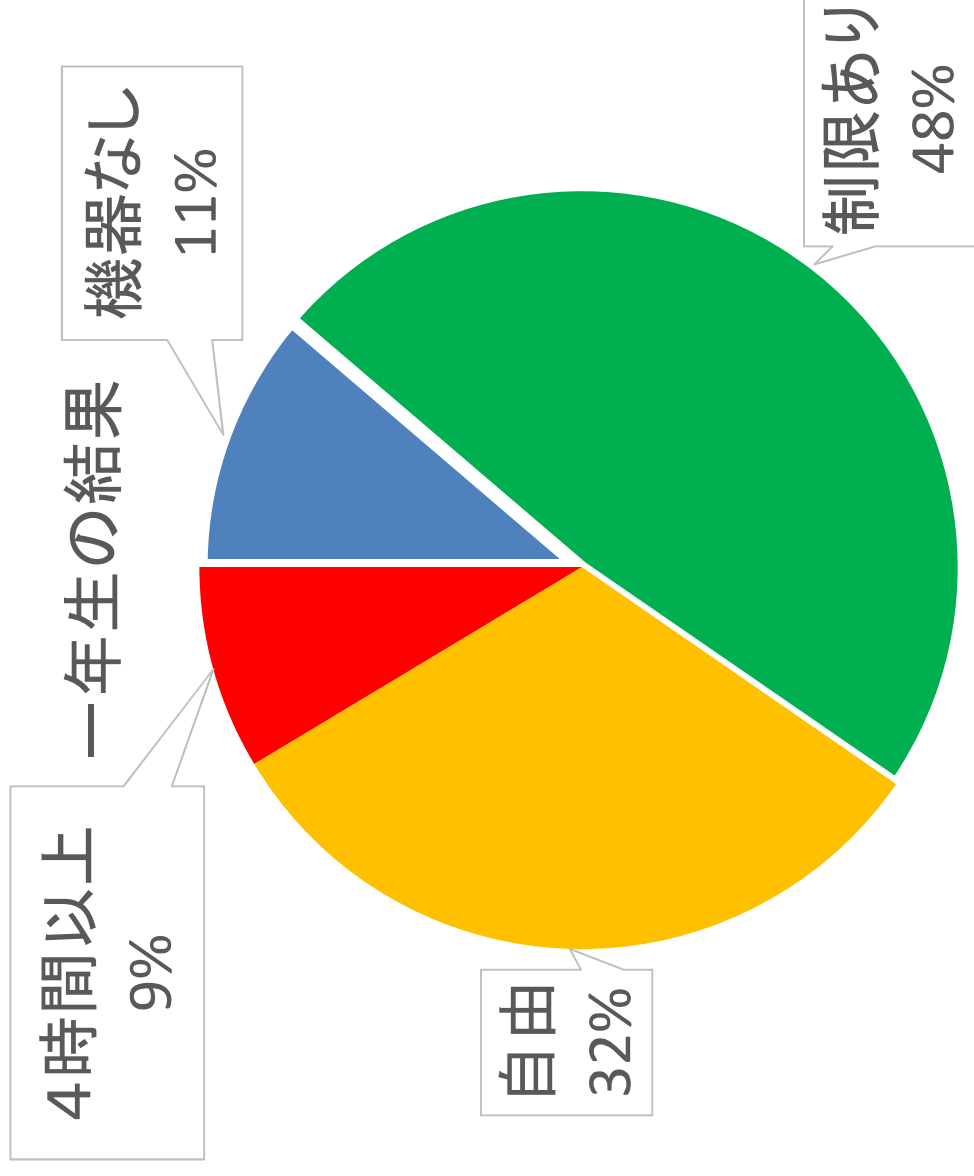
- 1 いつも相手の気持ちを考えて手紙やメールのやり取りをしている。(倫理)
- 2 達の写真を撮ったり、ネットに載せたりする時にも本人に確認している。(倫理)
- 3 ネット上(ライン・ツイッター・メール)で悪口を言うと言われることがあるのを知っている。(倫理)
- 4 誰かの作品を無断で使ったり、まねたりしたものを自分の作品として発表してはいけないことを知っている。(知的・財産)
- 5 著作権とは作品を作った人なら誰でも持っていて、大切にしなければならぬことを知っている。(知的・財産)
- 6 授業の発表や自由研究でインターネットや本に出していた写真等を使う場合は、本やサイト名、撮影した人の名前等をわかる範囲で書いておくことを知っている。(知的・財産)
- 7 自分のID・パスワードを友達に教えてはいけないことを知っている。(安全)
- 8 ゲームやネット上で友達のIDやパスワードを使って勝手に遊んではいけないことを知っている。(安全)

中学生の情報機器の使用状況

情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)

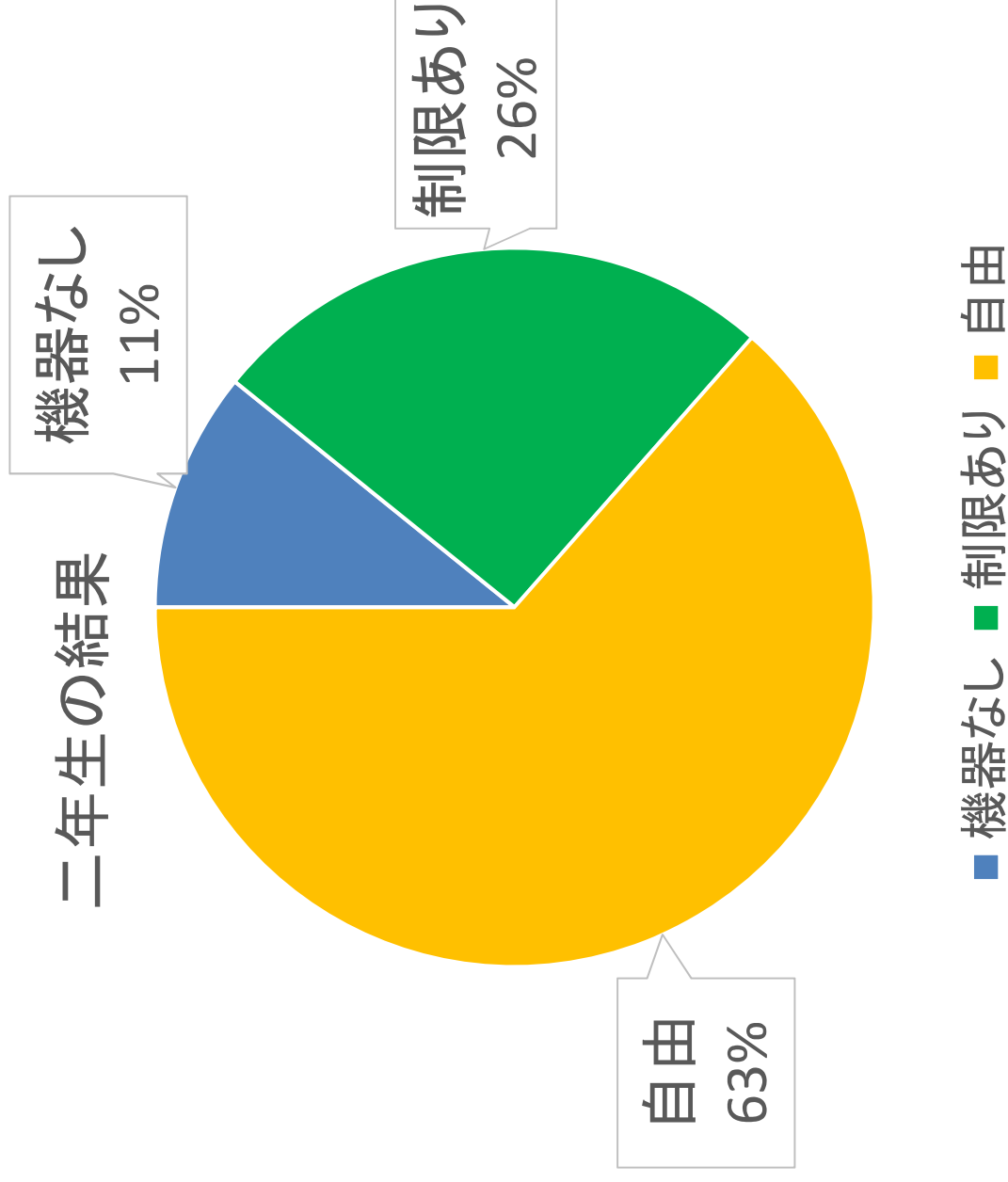


情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)

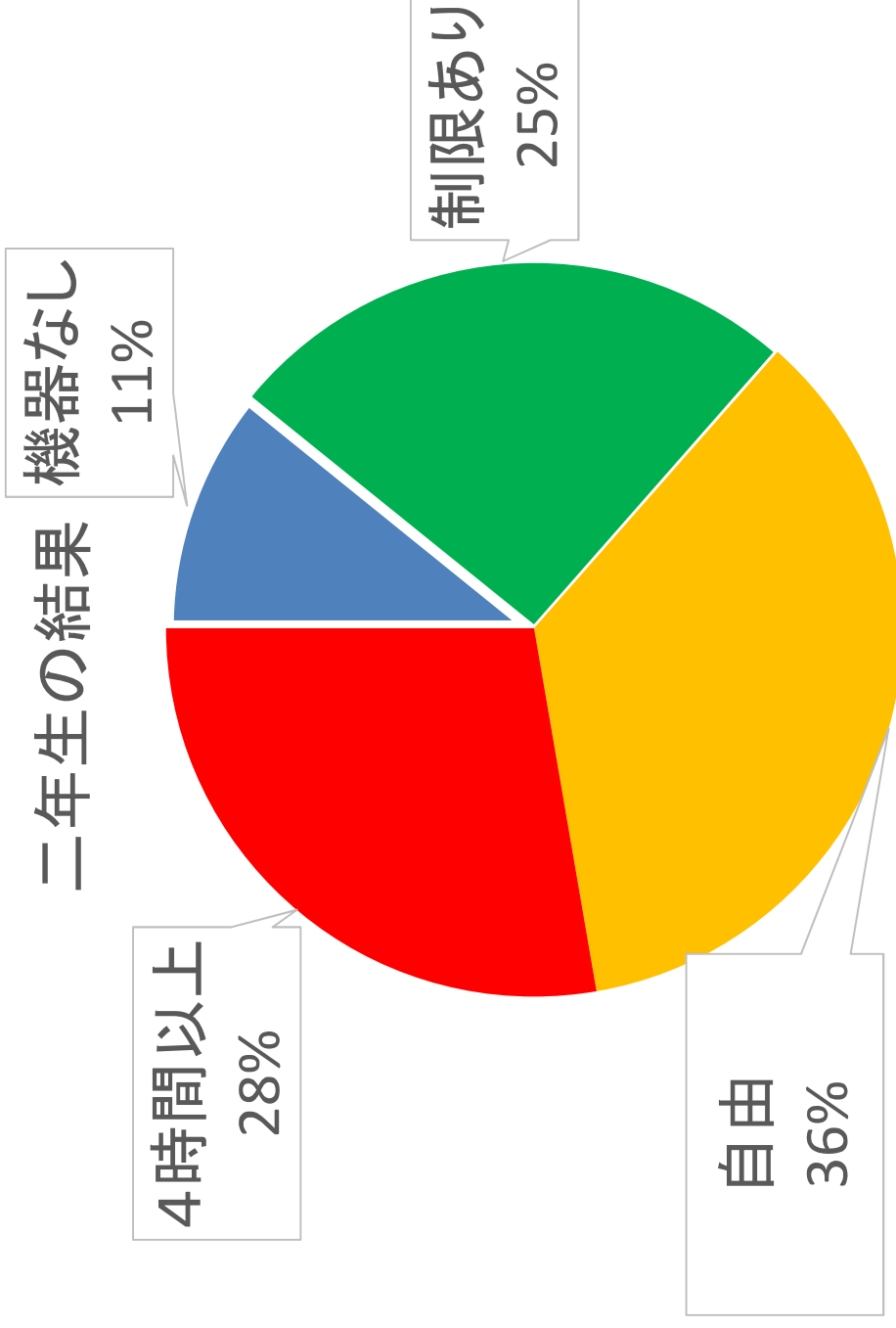


- 機器なし
- 制限あり
- 自由
- 4時間以上

情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)

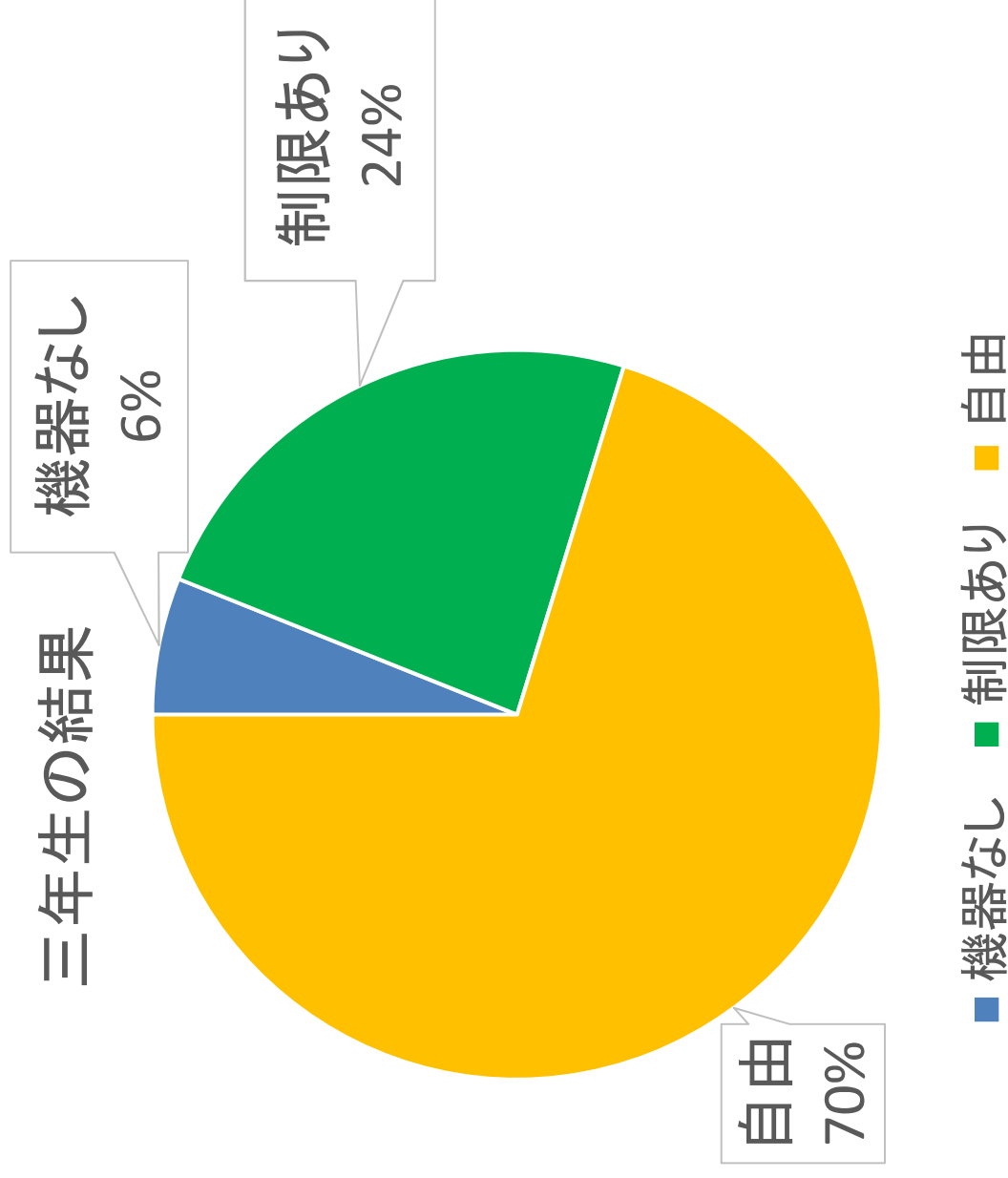


情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)

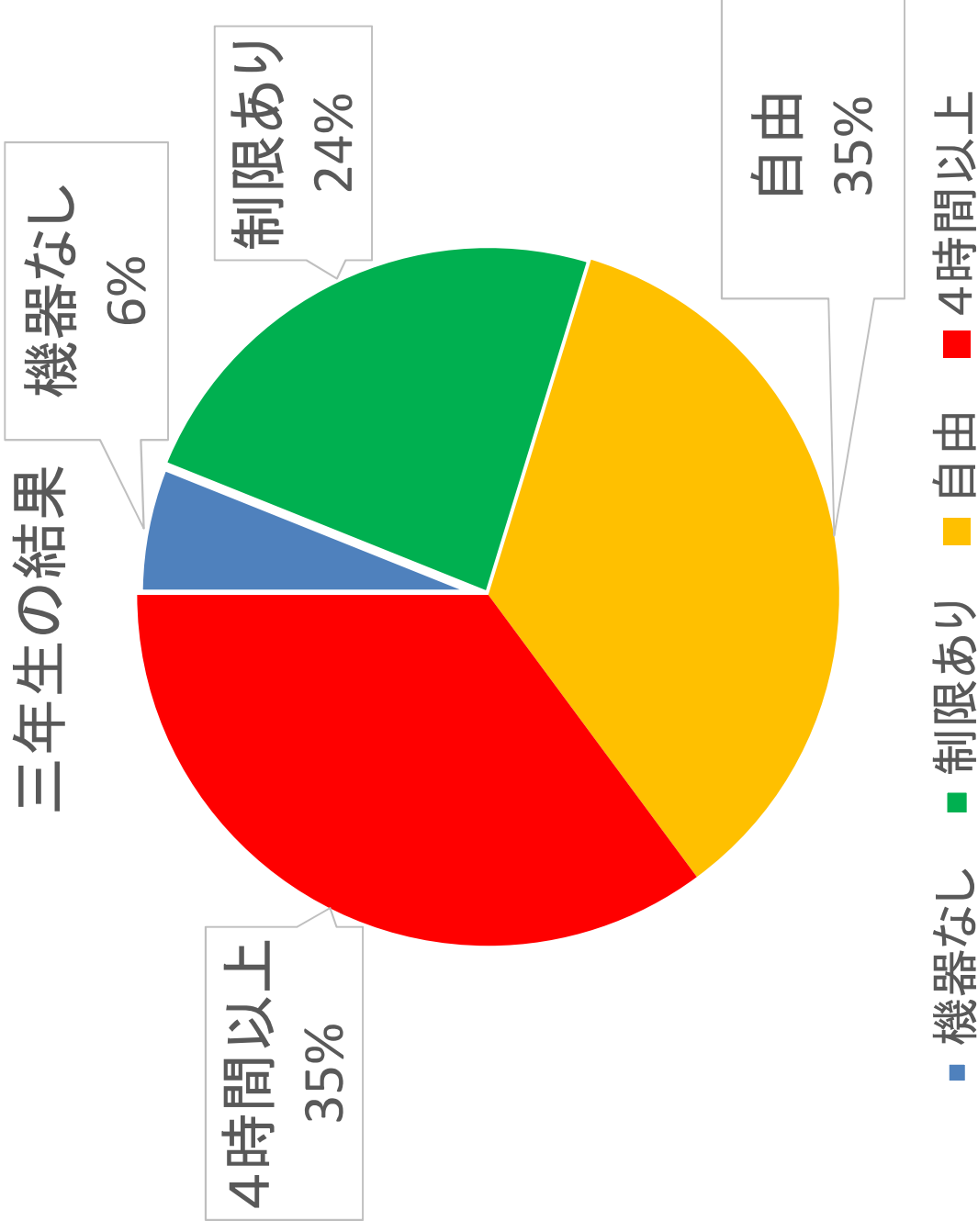


- 機器なし ■ 制限あり ■ 自由 ■ 4時間以上

情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)



情報ツール利用状況 (平成27年度中学生)



アンケートに記入されていたトラブル

- タイムラインに本人の許可無く写真を載せられ、嫌なコメントをつけられた。勝手に画像を加工されて笑いものにされた(肖像権、倫理)
- ゲームに熱中しすぎたり、メッセージの返事に追われ寝不足で授業に集中できない(安全、倫理)
- オークションの説明に書いてある商品状態とは違う粗悪品が送られてきた(安全)

情報を発信することの注意点

- 自分の発信した情報が一度インターネット上に上げられてしまうと自分のコントロールを離れて、一人歩きをしてしまう
- 例えば、自分が発信した元の情報を消したとしても、コピーされてしまっていれば誰かの手に残り続ける
- インターネットの匿名性の高さも悪質な嫌がらせにながりがやすい
- 情報は本人の思いもよらない形に作り替えられてしまう可能性がある(可塑性)

情報モラル教育で身に付けてほしい力

- 情報の真偽をきちんと確かめる力
- 自分が今やるべきことを考え、遊びなどの誘惑を自制する力
- 世界中の人とつながることができるという良さを生かしつつ、それに伴う責任を果たすことができる力

活用例 ～6年生の授業風景～

14:51



テレビ接続



カリキュラム

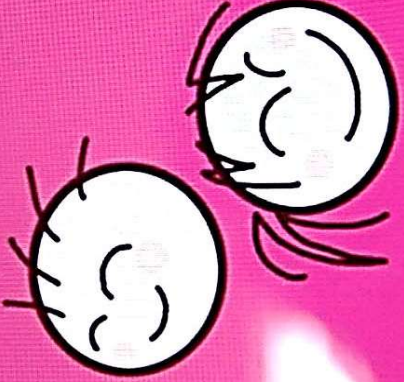
お助けNet



通信 (小)



通信 (中)



保護者向け

Education Network

児童向け



ASUS

2. タブレットと受信機を無線で接続する

- ① タブレットを起動してください。
- ① タブレットの上部にある「テレビ接続」を押してください。
- ② 下のよう



このアイコンを押してください

- ③ Push
- ④ 下のよ
- テレビ

- ⑤ テレビ
- ⑥ タブレッ
- てくださ
- ※タブレッ

接続しな

- ① 受信機
- ② 受信機
- ③ テレビ

- 先ほど押
- ③ 下のよう

情報モラル教育用

お助けネットタブレット



- お助けネットタブレット
- 映像受信ボックス & ケーブル
- お助けネットタブレット 充電ケーブル
- 説明用シート x 2

映像受信ボックスにつながつているケーブルは、はずさないままこのケースにしまってください。

④ 受信機本体は、そのまま電源を抜いてかまいません。ただし、本体に接続されているケーブルは外さないままケースにしまってください。

本体側のケーブルは外さない

ゲーム画面に戻つ

れます。

?
したか?

成果と課題

成果

①教科と照らし合わせた

児童の実態に即した

短時間で誰でも指導可能な

年間指導計画を作成した。

②授業の指導案や保護者会の資料を研究する

ことで、より先生方が情報モラル教育を行いやすい環境を整えた。

課題

- ①今後のアンケートの結果もふまえ、子どもたちの実態や教科指導にきちんと合うように、引き続き、情報モラル教育年間計画の見直しと更新を行っていく必要がある。
- ②広く座間市の先生方に使っていただくための普及に努めていかなければならない。

ご清聴

ありがとうございました